訓練実施結果報告書（記入例）

施　設　名	○○			
実　施　日　時	令和３年４月１５日１０時００分　から１１時００分　まで			
実　施　場　所				
想　定　災　害 （該当する□にチェックをする。）	☑洪水　□土砂災害　□高潮　□津波 □　その他の災害（　　）			
訓練種類・内容 （該当する□にチェックをする。）	□　図上訓練		□　情報伝達訓練	
	☑　避難経路の確認訓練		□　立退き避難訓練	
	☑　垂直避難訓練		□　持ち出し品の確認訓練	
	☑　その他（避難確保計画及びハザードマップを再認識する）			
	（訓練内容を適時自由記載） 職員による避難経路の再確認 歩行不能入院患者の移送訓練（上階への垂直避難） LINE のグループ連絡網を使用しての非常参集連絡訓練			
訓練参加者・参加人数	従業者（全員・一部）　２０名（うちパート・アルバイト　６名） 施設利用者（全員・一部）　１０名（入院患者）　（うち通所者　０名） その他訓練参加者：施設利用者の家族　０名 地域の協力者　０名 その他　０名			
訓練実施責任者	職　事務長　氏名　天理　太郎			
確　認　事　項	□　避難支援に要した人数	５名	□　避難に要した時間	時間　１５分
	□　避難先や避難経路の安全性			
	その他 ハザードマップを確認して、病院立地場所の浸水深を確認し、垂直避難をする際の階数を確認し、職員に周知する。			
訓練によって確認された課題とその改善方法等	独歩不可能な患者様を垂直避難させるさいに、エレンベーター―を利用するかが課題である。 独歩可能な認知症患者様においても、垂直避難に時間を要し、複数の職員の解除が必要であった。このため、深夜時間帯に災害が発生した時に緊急に参集する職員を見直す必要があることが新たに判明した。			
訓練記録作成者	職　主任　氏名　○○			